

就農研修者家賃助成事業

第1号様式の1. (附表)

1 申請額算出表

家賃額 (A)	助成割合	助成家賃額(B) [(A) / 2]	助成期間 (C)	助成金交付申請額 (B) × (C)
24,500 円/月額	2分の1 以内	10,000 円/月額	12 か月 日間	120,000円

家賃額の1/2以内とし、10,000円を上限とする。
(端数が発生する場合には1,000円未満を切り捨てる)

(端数を切り捨てる例)
家賃額: 15,000円の場合
15,000円 ÷ 2 = 7,500円
(1,000円未満切り捨て)
助成家賃額: 7,000円となる。

注1) 家賃額が20,000円を超える場合、助成対象家賃額は10,000円とすること
注2) 助成家賃額は1,000円未満を切り捨てた額とすること
注3) 助成期間は原則月単位とすること

2 経費配分表

家賃総額 (A)	負担区分	
	センター助成額(B)	自己負担額(A)-(B)
294,000円	120,000円	174,000円

支払った家賃の総額を記入すること。

注1) 家賃総額は助成期間中に貸主へ支払予定の総額とすること
注2) センター助成額は1の助成金交付申請額と同額になること
注3) 負担区分には家賃総額に対する支払内訳として記入すること

3 借家等の概要

所有者(貸主) 住所・氏名	札幌市豊平区平岸1条1丁目 育成 太郎		
所在地	札幌市中央区北5条6丁目		
構造	木造(平屋)		
部屋数	2LDK		
延べ建物面積	50 m ²		

賃貸借契約書をもとに記入する。

注1) 所有者は借受ける住宅の所有者をいう
注2) 所在地は借受ける住宅の所在地をいう
注3) 構造は借受ける住宅の建築構造を示すものとし、例えば「木造モルタルサイディング2階建」等記入すること
注4) 部屋数は借受者(申請者)が占有する部屋数を記入することとし、例えば「1LDK」等記入すること
注5) 延べ建物面積は、借受者(申請者)が占有する面積をm²を単位とし記入すること

4 入居者

続柄	氏名	年齢	性別
本人(申請者)	担い手 太郎	40	男
妻	担い手 花子	39	女